

同志社大学

2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 4月 6日提出

所 属	職 名	氏 名
社会学部	教授	鯨坂 学
研 究 題 目	「都心回帰」時代における大都市都心の地域コミュニティの限界化と再生に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>1. 都心回帰についての研究調査を以下のように行った。</p> <p>①京都市中京区の地域コミュニティのフィールドワークおよび量的調査 明倫学区・城巽学区の約 1200 人の住民に対するアンケート調査を行い、38～35%の回答を得た。年末にデータ入力を行い現在整理、解析中である。</p> <p>②京都市の中京区の約 1000 人の住民に対するアンケート調査を行い、約 36%の回答を得た。年度末にデータ入力を行い、2015 年度にはそれらの解析を行う。</p> <p>③大阪府中央区のフィールドワークおよび約 1200 人の住民に対するアンケート調査を行い、34%の回答を得た。年度末にデータ入力を行い、2015 年度にはそれらの解析を行う。</p> <p>2. これまでの研究調査を踏まえて、以下の成果の刊行・学会報告・海外学術講義をおこなった。</p> <p>①日本都市社会学会第 32 回大会（於専修大学）のシンポジウムで『『都心回帰』による大都市都心の地域社会の構造変動—東京都中央区および大阪市北区のアップーミドル層に注目して』という報告をおこなった。</p> <p>②中国の南京大学社会学院で、「日本の地域社会の変動」と題した、講義・講演をおこなった。</p> <p>③『評論：社会科学』第 111 号に共同論文『『都心回帰』時代の東京都心のマンション住民と地域生活』 pp. 1-112 を公表した。</p>	